

「課題名：皮膚免疫環境の加齢性変容の解析」

にご協力いただく方への公開文書

2013年～2028年の期間に、東京医科歯科大学病院皮膚科や形成・美容外科で皮膚良性腫瘍や皮膚潰瘍、形態異常で受診し手術を受けた方、もしくは炎症性皮膚疾患(乾癬、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、接触皮膚炎、皮膚ループスエリテマトーデス・扁平苔癬、皮膚移植片対宿主病、尋常性白斑)で皮膚生検を受けた方

本学では下記研究を行っています。研究への参加を希望されない場合には、末尾の研究者連絡先にご連絡ください。

(1) 研究の概要について

承認番号： 第M2022-310番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から西暦2028年3月31日

研究代表者：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野・教授・沖山奈緒子

共同機関研究責任者：東京大学医科学研究所老化再生生物学分野・教授・西村栄美

本研究は、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得ています。

<研究の概略>

皮膚や毛髪などの見た目から判断される個人の見た目年齢は、臓器まで含めた全身の老化を反映しているとされているが、そのメカニズムは明らかにされていません。そこで本研究では、皮膚における加齢による免疫環境の変化が、全身の老化に影響しているという仮説の元、①各年代ごとの正常皮膚、②炎症性皮膚疾患(乾癬、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、接触皮膚炎、皮膚ループスエリテマトーデス・扁平苔癬、皮膚移植片対宿主病、尋常性白斑)がある各年代ごとの皮膚、それぞれの免疫環境を解析して、基礎データを得ることを目的としています。

我々の施設で保管している、①あなたの診療のために行った手術検体の辺縁部分、②あなたの炎症性皮膚疾患の診断のために行った皮膚生検の検体を、解析させていただきます。

(2) 研究の意義・目的について

マウスモデルを用いた基礎研究より、加齢により皮膚免疫環境が変化することで、皮膚のみならず骨関節の老化へ繋がることを示唆されています。本研究ではヒトの正常皮膚での加齢による免疫環境変化を網羅的に解析するとともに、主な炎症性皮膚疾患においても加齢による発症機転を探ることを目的としています。得られた結果をもとに、老化関連疾患の治療・予防や健康長寿のための戦略を明らかにするという意義があります。

(3) 研究の方法について

あなたの病気は、①皮膚良性腫瘍、皮膚潰瘍、形態異常など、②炎症性皮膚疾患(乾癬、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、接触皮膚炎、皮膚ループスエリテマトーデス・扁平苔癬、皮膚移植片対宿主病、尋常性白斑)であり、①治療のために手術、②診断のために皮膚生検が行われました。この通常の診療で切除した皮膚検体の余った検体を用いらさせていただきます。、15歳未満、15歳以上～20代、30～40代、50～60代、70代以上の各年代で6名ずつを

目安に検体を収集させていただき予定です。皮膚検体は、病理組織学的解析を行います。

疾患名や血液・画像検査の結果（白血球数、肝腎機能障害、悪性腫瘍の有無）などの診療情報を併せて使用させていただきます。

匿名化した皮膚検体や診療情報は、東京医科歯科大学皮膚科の研究室、もしくは共同研究先の東京大学医科学研究所（責任者：老化再生生物学分野教授・西村栄美）で解析を行います。試料や診療情報は、識別コード番号を付けて匿名化し、その対応表はパスワードのかかったハードディスクに保管します。これらの情報は、東京医科歯科大学にて管理し、東京大学医科学研究所には提供されません。

（４） 試料・情報等の保管・廃棄と、他の研究への利用について

匿名化した皮膚検体や診療情報は、東京医科歯科大学皮膚科の研究室、もしくは共同研究先の東京大学医科学研究所（責任者：老化再生生物学分野教授・西村栄美）で、論文などで結果発表後 10 年間は保管し、その後は破棄予定です。

同意いただいた方には、提供された試料を他の研究に使用する可能性があります。これを二次利用といたしますが、その際には改めて倫理審査委員会の承認を得て、当教室ホームページなどで告知します。

（５） 予測される結果（利益・不利益）について

通常の診療以上の利益・不利益はありません。

（６） 研究協力の任意性と撤回の自由について

研究への参加は対象となる方の自由意思によるものです。一旦同意されてもその後の撤回は自由であり、同意しないもしくは同意を撤回することによって、診療上、一切の不利益を被ることはありません。同意撤回後、未解析の試料や診療情報は廃棄します。

ただし、すでに解析して学術発表後である場合には、個人のデータを特定できないため、参加撤回の措置を講じることが困難となりますことを、ご了解ください。

（７） 個人情報の保護・取り扱いについて

試料や診療情報は、識別コード番号を付けて匿名化し、その対応表はパスワードのかかったハードディスクに保管します。これらの情報は、東京医科歯科大学もしくは東京大学医科学研究所にて管理します。

（８） 研究に関する情報公開について

研究成果は国内外の学会、学術誌などでの公表を予定しています。その際、データは匿名化されて統計処理されており、個人情報漏洩する危険はありません。

（９） 研究によって得られた結果のお知らせ

特にお知らせしません。

（１０） 経済的な負担および謝礼について

研究に参加することにより、研究参加者に生じる費用負担はありません。また、謝礼もあり

ません。

(11) 研究資金および利益相反について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

本研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の革新的先端研究支援事業による研究費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

(12) 研究に係るご相談・問い合わせ等の連絡先：

研究者連絡先：東京医科歯科大学病院皮膚科教授 沖山奈緒子
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
03-3813-6111（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部事務部総務係
03-5803-5096（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。